尼崎市総合文化センター
施設使用における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン
(貸館におけるガイドライン)

新型コロナウイルス感染症拡大にあたり、当センターでは「施設使用における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン（以下、本ガイドライン）」を定め、感染拡大防止に努めてまいりました。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令に際しては、政府・兵庫県・尼崎市の要請や、公益社団法人全国公立文化施設協会が定めた《劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン》に準じた対応を行ってまいりました。

新型コロナウイルス感染症発生から2年半が経過いたしました。引き続き感染力の強い変異株による感染再拡大の恐れもあり、感染防止対策の継続が求められています。今回の改定は、社会・経済活動と感染防止の両方を見据え、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策として実施すべき基本的事項を見直して整理いたします。

本ガイドラインについては、今後の感染拡大状況により適宜改定するものといたします。

【施設管理運営にあたって（文化振興財団の取組）】

- 1 職員は、出勤前に検温し体調管理に努めるとともに、**施設内ではマスクを着用し業務を行います。**
- 2 各施設に消毒液を設置し、掲示板などで消毒液の設置場所をご案内します。
- 3 多くのお客さまが触れる場所は、**適宜消毒します。**
- 4 ホール及び会議室等の施設内は、窓や入口の開放及び空調機による換気を行います。
- 5 各受付では、**換気を考慮**したうえでシートを設置し飛沫感染を防止します。
- 6 近距離でのご案内などが必要な場合は、マスクを正しく着用し、必要に応じて手袋も使用します。
- 7 ロビー等のイスについては、**数を減らし間隔を空けるようにします。**

貸 館 事 業

【施設管理運営にあたって（文化振興財団の取り組み）】

- 1 貸室の入れ替え時には、室内の換気及び消毒に努めます。
- 2 貸出備品については、返却後に消毒します。
- 3 入場（室）者数は、貸室定員のおおよそ1／2以内に制限するよう促します。
但し、政府や兵庫県の要請に基づき、感染症対策を講じた催事の内、入場者が大声での歓声・声援・唱和などを行わない公演に限り定員数までの利用とします。
- 4 発熱などの**体調不良がある（咳、喉の痛み等）**場合は利用自粛を促します。

- 5 利用者には、施設内でのマスク着用を求めます。屋外において他者と距離がとれず会話を行う場合は、着用を促します。

【利用者に協力をお願いする事項】

(利用者すべてにお願いする事項)

- 1 咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒を行ってください。
- 2 マスクが無い場合は、財団事務所に申し出てください。(1F 総合受付で購入可)
- 3 熱がある場合や、息苦しさ(呼吸困難)・強いだるさや、軽度であっても咳・喉の痛みなどの症状がある場合は利用を控えてください。
- 4 利用者同士で一定の距離を確保してください。
- 5 利用者同士の長時間または大声での会話はお控えください。
- 6 飲食が許可されている施設であっても、マスクを外しての利用に際し、会話はお控えください。

(主催者をお願いする事項)

- 7 来館前の観客・会員等に検温を呼びかけてください。
- 8 演者がスピーチや歌唱などを行う場合、演者から観客まで水平距離で概ね2メートル程度の距離を確保するよう努めてください。
- 9 公演の前後及び公演の休憩中に、会場内の換気を行ってください。また、公演中も定期的に適切な換気を行ってください。
- 10 公演の企画にあたって、密集を回避する方策や密な状況を発生させない工夫の導入を検討してください。
- 11 開場・休憩時間の延長、入場時のチケット確認(もぎり)の簡略化、入場待機列の設置、日時や座席指定による人数調整、大人数での来館の制限等、ご検討ください。
- 12 高齢者が多数来場すると見込まれる公演については、感染リスクや重症化リスクが高いことから、より慎重な対応を検討してください。
- 13 体調不良者が発生した場合は、財団事務所に早急にお知らせください。
- 14 本ガイドライン、「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」のほか、必要に応じ「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」「舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」など分野ごとのガイドラインも併せてご覧ください。
- 15 本ガイドライン及びこれを踏まえた現場の対応方針を、全員に周知徹底を図ってください。

【大・中ホール】

- 1 入場者数は、定員の半分を目処にお抑えいただくよう、ご配慮をお願いします。但し、政府や兵庫県の要請に基づき、本ガイドライン記載の感染症対策を講じた催事の

内、入場者が大声での歓声・声援・唱和などを行わない公演に限り定員数までの利用が可能です。(最前列席の使用については、下段参照。)

- 2 イベントの規模にかかわらず、兵庫県の「イベントを開催するにあたっての方針について」をご確認いただき、必要な手続きを行ってください。詳細は、兵庫県のHPまたは新型コロナウイルス感染症対策本部事務局（TEL 078-362-9982・FAX 078-362-9912）までご確認ください。
- 3 **公演時の出演者を除き施設内ではマスクの常時着用を原則とし、公演前後の手指消毒を適宜行ってください。**
- 4 発声による飛沫感染対策として、客席の最前列席は舞台上の発声等を伴う出演者から**一定の距離を取ることで、水平距離で概ね2メートル程度を確保するよう努めてください。**
- 5 舞台上では**その表現形態に応じて感染防止に努めるようにし、公演時を除き施設内では常時マスクをするなど、可能な限り感染防止に努めてください。**
- 6 仕込み・リハーサル・撤去等において、**余裕あるスケジュールを設定し、密な空間の防止に努めるほか、感染防止措置を講ずるようにしてください。**
- 7 舞台袖、舞台裏、楽屋など待機時や、洗面や飲食などマスクを外す際は、各場所に応じた定員制限や会話の**抑制等をしてください。**
- 8 場内における会話は、マスク着用時においてもできる限り控えていただくよう周知してください。
- 9 客席内では、出演者などとの接触、コール（掛け声）、合唱などをご遠慮ください。
- 10 ロビーでの飲食については、**マスクを外しての利用に際し、会話をお控えください。**
- 11 公演中の来場者同士の接触は控えていただくよう周知してください。
- 12 来場者に対し、来場前の検温とともに、来場を控えてもらうケースを事前に十分周知してください。また、その際のチケット代金の払戻等の諸条件については、**事前に**告知してください。
- 13 自由席で実施する公演は、入場者をできる限り分散させ着席していただくよう、誘導してください。
- 14 施設の入口等の必要箇所に、手指消毒用の消毒液を設置し、不足が生じないよう定期的な点検を行ってください。必要であれば、入口数を制限することをご検討ください。
- 15 入場時のチケットもぎりについては、スタッフは**適宜手指消毒を検討してください。**
- 16 パンフレット、チラシなどは、据え置きとし来場者が自ら取得するか、手渡しの場合には**スタッフは適宜手指消毒をしてください。**
- 17 使用したテーブル、椅子等の**消毒を必要に応じて行ってください。**
- 18 **物品販売の際は、マスクの着用と必要に応じて手指消毒を行ってください。**オペラグラス等の貸出物については**消毒を行うとともに、消毒が行えない場合は貸し出しを控えてください。**

- 19 入場や物品販売待機時、退場時に、密集・密接状態が起きないように、余裕をもったスケジュールを**設定してください**。
- 20 余裕を持った休憩時間を設定し、トイレなどの混雑緩和に努めてください。混雑が予想される場合は表示などを行い、**一定の間隔**を空けた整列を促してください。
- 21 公演関係者について感染が疑われる場合は、**基本は、公演参加を控えるようにしてください**。その上で、**発熱などの症状が出た場合には、かかりつけ医等、身近な医療機関に電話で相談してください**。

(楽屋・控室)

- 22 常時換気に努めてください。
- 23 ご飲食は、**マスクを外しての利用に際し、会話をお控えください**。
- 24 テーブル、椅子等、物品の消毒を**必要に応じて**行ってください。
(トイレ・洗面所)
- 25 不特定多数が接触する場所は、清掃・消毒を行ってください。
(リハーサル及び準備)
- 26 各自検温を徹底し、**発熱等の体調不良の場合**には参加しないようにしてください。
- 27 舞台上などで使用する備品の消毒にご協力ください。

【リハーサル室・練習室】

- 1 **発声を伴う利用については、必要となる感染防止対策を総合的に講じた上で、密が発生しない程度の間隔を空けてください**。
- 2 楽屋としてご利用の際は、**長時間または大声での会話をお控え**いただき、定期的に換気を行ってください。
- 3 ご飲食の際は総合受付まで必ずご相談ください。ご飲食は、**マスクを外しての利用に際し、会話をお控えください**。
- 4 テーブル、椅子等、物品の消毒を**必要に応じて**行ってください。

【会議室】

- 1 各部屋に定められた定員数の半分を基準に、参加者数の制限を推奨します。但し、政府や兵庫県の要請に基づき、本ガイドライン記載の感染症対策を講じた催事の内、参加者が大声での発声などを行わない催事に限り定員数までの利用が可能です。(研修会や討論会、ワークショップなどで多くの方が発声をする催事については定員数の半分を基準にご利用ください。)
- 2 発声による飛沫感染対策として、講演者など入場者の距離を**概ね2メートル程度を確保するよう努めてください**。
- 3 大声での会話は**お控えください**。

- 4 ご飲食の際は総合受付まで必ずご相談ください。飲食については、**マスクを外しての利用に際し、会話をお控えください。**(会議室内でのご飲食は指定業者をご案内します。)
- 5 窓を開けて換気を行う場合は、指定された窓をご利用ください。
- 6 第2会議室のマイク設備をご利用の際は、使用前後に消毒スプレーをご利用ください。
- 7 テーブル、椅子等、物品の消毒を**必要に応じて**行ってください。

【アルカニックホール・ミニ（玉翔の間）】

- 1 コンサートや講演会をご利用の場合（椅子のみを設置する場合）、定員は100名程度にお抑えいただくようご配慮をお願いします。但し、政府や兵庫県の要請に基づき、本ガイドライン記載の感染症対策を講じた催事の内、入場者が大声での歓声・声援・唱和などを行わない公演に限り定員数までの利用が可能です。
- 2 イベントの規模にかかわらず、兵庫県の「イベントを開催するにあたっての方針について」をご確認いただき、必要な手続きを行ってください。詳細は、兵庫県のHPまたは新型コロナウイルス感染症対策本部事務局（TEL 078-362-9982・FAX 078-362-9912）までご確認ください。
客席内では、出演者などとの接触、集団での発声、合唱などをご遠慮いただくよう、ご協力をお願いします。
- 3 ご宴会等（**食事を伴うイベントを含む**）お食事を伴うご利用については、現在受付を休止しています。

【美術ホール】

- 1 控室でのご飲食の際は、**マスクを外しての利用に際し、会話をお控えください。**
(湯呑などの貸出は休止しています。)
- 2 必要であれば入場制限を行ってください。

【感染が疑われる者が発生した場合の対応策】

- 1 感染が疑われる者が発生した場合、速やかに別室へ隔離を行ってください。
- 2 対応するスタッフは、適切なマスクと手袋の着用を徹底してください。
- 3 財団事務所に届け出るとともに、保健所等の公的機関へ連絡し、指示を受けてください。

以上